様式３(2015.06改)

作成日　令和２年１月１４日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373900345
事業所名	グループホーム「白寿の里」

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会や地域の老人会に加入し、情報を得て地域行事に参加している。恒例の「裸まつり」には、毎年馴染みのチームがホームの中まで入ってきて、利用者と飲食を共にする。 ボランティアの来訪が増え、フットケアの資格を持ったボランティアは、利用者の足のマッサージや爪切りをしてくれる。フェイシャルケア（マッサージ）のボランティアは、女性利用者に大人気である。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議が毎奇数月に開催され、家族、行政関係者（市・担当者、地域包括支援センター職員）、地域代表（区長、民生委員）、知見者が出席している。 ホームの運営状況を報告し、参加者が積極的に意見交換を行っている。 消防署長経験者が区長として会議に参加しており、防災関係についてのアドバイスを得ている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議に出席した市及び地域包括支援センター職員からは、ホーム運営に有益な様々な助言がある。 生活保護受給者が複数利用しており、市・福祉課職員の訪問がある。 管理者は市・福祉課に6年間の在籍経験があり、意志疎通は図られている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	来訪する家族から意見や要望を聞き取り、可能な限りホーム運営に反映させている。 利用者は亡くなられたが、運営推進会議に継続して参加している家族は、「感謝」の意を込めて、「家族OB」として参加している。 年1回の家族会兼食事会が、継続して開催されている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎